

# 1 アンケート調査結果

～ 県全体 ～

## Ⅱ 調査研究の結果

### 1 アンケート調査結果 ～県全体～

#### (1)回収状況

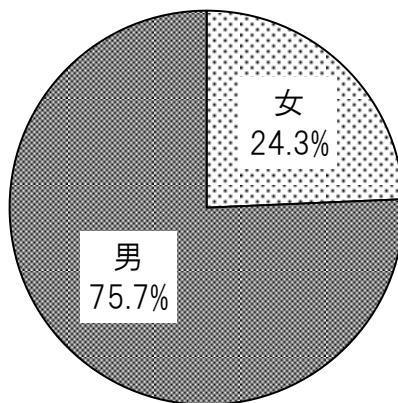
表Ⅱ-1-① 調査対象とアンケート回収率（県全体）

校種	学校数(校)	対象者数(人)	回答数(人)	回収率
小学校	378	758	731	96.4 %
中学校	165	328	306	93.3 %
高校	61	140	132	94.3 %
特別支援学校	15	35	32	91.4 %
県全体	619	1261	1201	95.2 %

回答者についておたずねします。

#### (1)性別を教えてください。

回答者の性別(県全体) N=1201



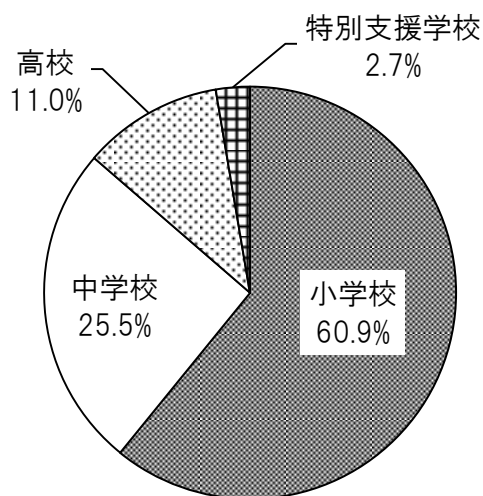
図Ⅱ-1-①

回答があった管理職については、女性が24.3%、男性がおおよそ3倍の75.7%となっている。

回答者についておたずねします。

#### (2)校種は何ですか。

回答者の校種(県全体) N=1201

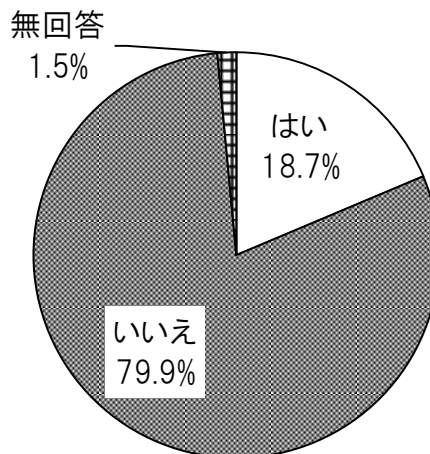


図Ⅱ-1-②

回答者の校種については、小学校60.9%、中学校25.5%、高校11.0%、特別支援学校2.7%となっている。

社会教育主事の資格をお持ちですか。

社会教育主事資格の有無(県全体)  
N=1201

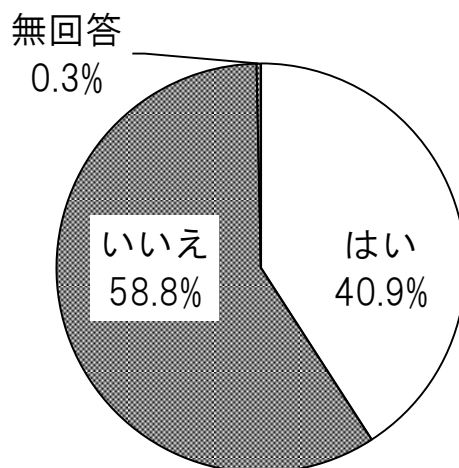


図Ⅱ-1-③

社会教育主事有資格者は、18.7%となっている。

行政職の経験はありますか。

行政経験の有無(県全体) N=1201

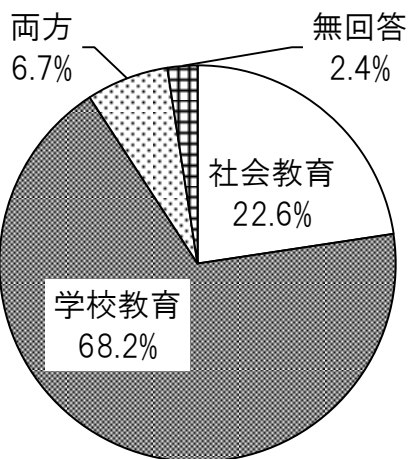


図Ⅱ-1-④

「行政経験がある」が40.9%、「行政経験がない」が58.8%となっている。

行政経験がある回答者の職種(県全体) n=491

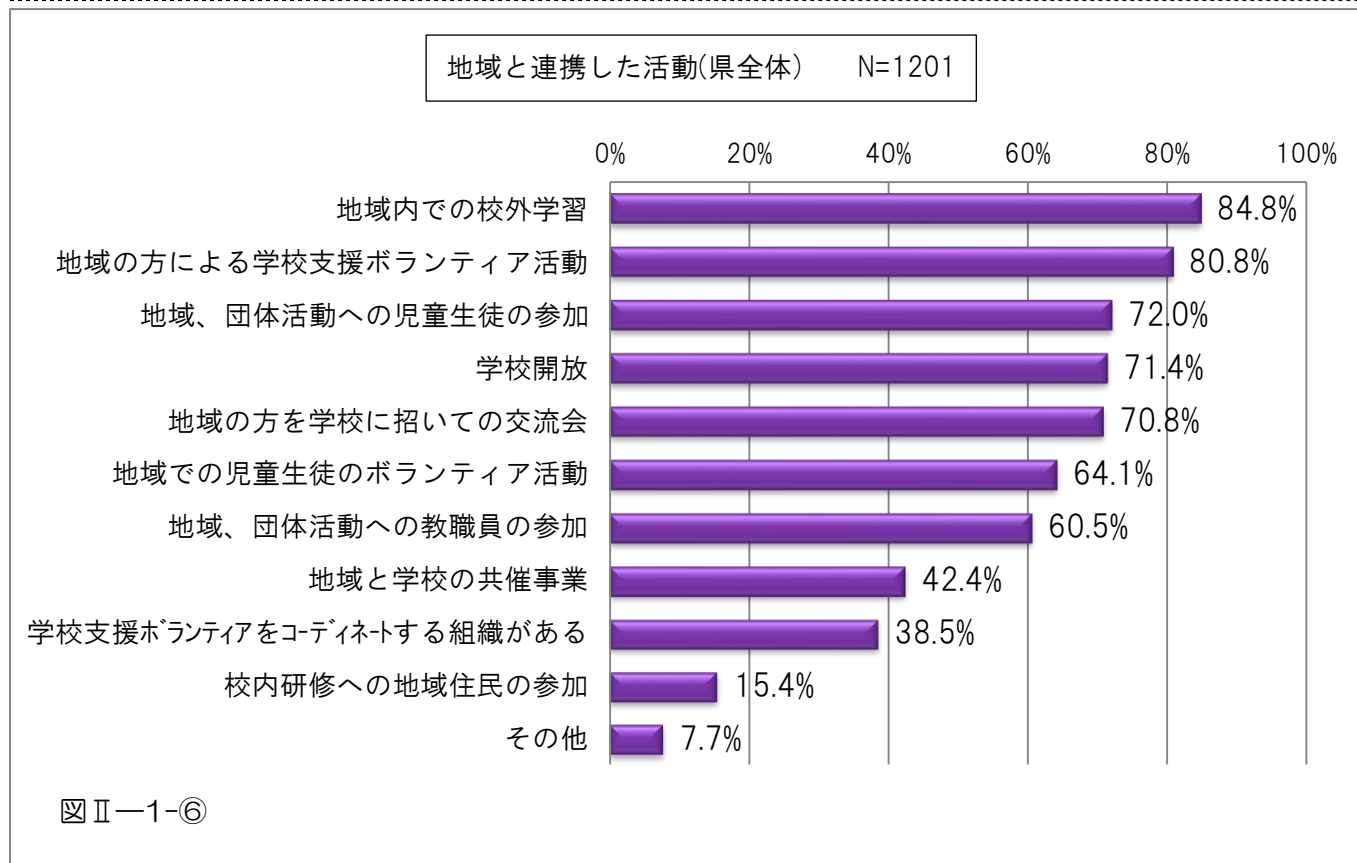
- 社会教育関係  
(社会教育主事、副主幹、社会教育施設指導主事 等)
- 学校教育・学校管理関係  
(指導主事、管理主事、副主幹 等)



図Ⅱ-1-⑤

「行政経験がある」と答えた回答者の中で、社会教育関係の職種は22.6%、学校教育関係の職種は68.2%、両方の職種を経験した回答者は6.7%、無回答2.4%となっている。

貴校では、次のような地域と連携した活動を行っていますか。当てはまるもの全てに○を付けてください。



回答が最も多かったのは「地域内での校外学習」で 84.8%、次いで「地域の方による学校支援ボランティア活動」で 80.8%である。「地域、団体活動への児童生徒の参加」「学校開放」「地域の方を学校に招いての交流会」の3つの項目については、0.6ポイントずつの差となっており、ほとんど差がない。

### 【その他の地域と連携した活動】

※ ◎は校内での活動、○は校外での活動及び地域住民主体の活動

#### (小学校)

- ◎運動会への自治会・諸団体（敬老会・消防関係団体・中学生、高校生）の参加
- ◎本校の特色ある教育活動ふるさと学習の講師
- ◎学校行事への協力（おはやし会 等）
- ◎PTA活動（学校整備作業）への自治会協力
- ◎地域の方主催の劇団への児童参加と学校での公演
- ◎三世代交流活動（紙鉄砲作り、まんじゅう作り、グランドゴルフ、だんご作りを三世代で行う活動）
- ◎地域の方を講師や学習協力者とした学習活動（歴史学習 等）
- ◎学区内をコースにした持久走大会の補助
- ◎町内会長・PTA役員との連絡会議の開催
- ◎特色ある教育活動について意見を聴取する組織づくり
- ◎聴講生制度
- 地域の祭り、親子花火大会
- 文化的・伝統的行事を地域と共催で実施（盆踊り・どんど焼き・七夕 等）
- おやじの会の活動
- 公民館との連携
- 自警団による学区内の巡視
- 地区社会教育振興会と連携した「学びの広場」

### (中学校)

- ◎部活動の外部指導者
- ◎総合的な学習への協力依頼、授業の援助（ゲスト・ティーチャー）
- ◎講演会の講師、創立記念講話
- ◎地域老人クラブの学校環境整備のための労力奉仕
- ◎地区の高齢者への暑中見舞い、年賀状の送付
- ◎自治会、地域住民の協力を得た廃品回収
- ◎地域の方々を招いての情報交換会の開催
- 地域（学区）内の小学校との連携
- 地域体験学習
- 郷土芸能の伝承
- 地域巡視活動
- 中学校区安全安心対策委員会
- 各事業所へ出向いての活動
- マイチャレンジ体験活動への参加依頼、体験活動の実施
- 地域めぐりを実施し、事前に町内回覧板で地域に周知し、地域の参加者も募集
- 町内懇親会

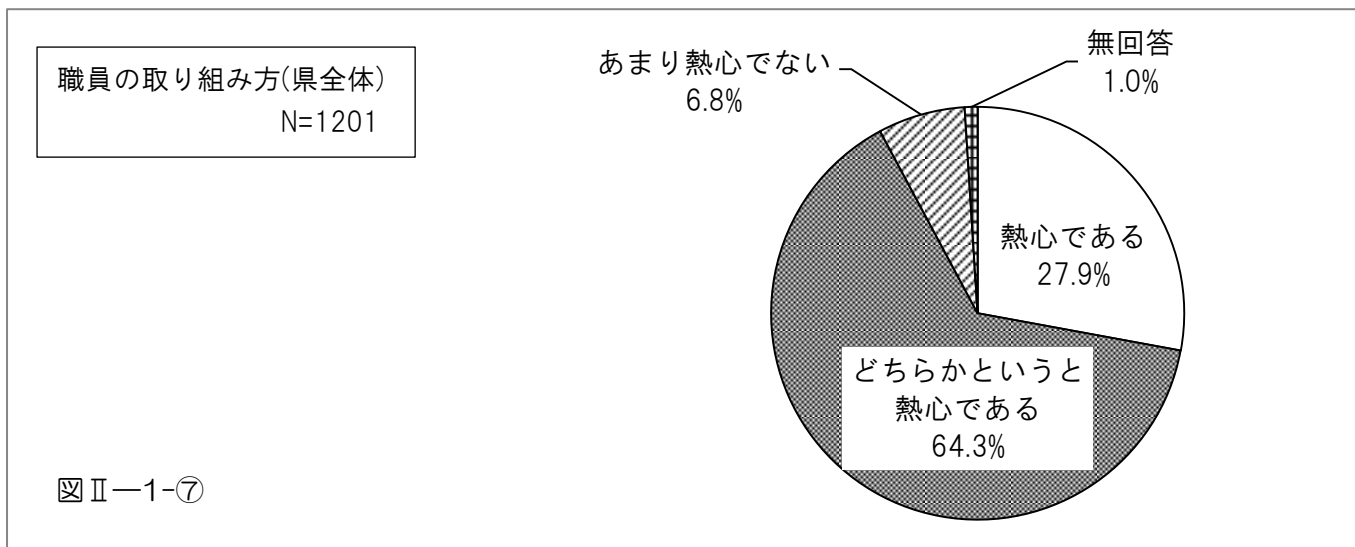
### (高校)

- ◎学校の部活動主催による地域社会人とのスポーツ大会の開催
- ◎地域の方を招いての講演会の実施（地域理解のため）
- ◎地域の方による授業の支援
- ◎学校主催行事への町（社会福祉協議会）のサポート
- ◎大学教授、企業人の校内での講演会
- ◎地域の方に授業を提供する「公開講座」
- ◎地域老人会を招いてのデイサービス等
- 地域行事への参加（イベントでのボランティア活動など）
- 地域イベントでの農産物の販売・電気自動車等の展示及び試乗会
- 小学生へのクッキング教室のボランティア
- 道の駅・高速道路パーキングエリアレストラン等のメニューレシピの提供及び農産物等の販売
- 地域内の学校、施設等との交流やボランティア活動（特別支援学校、児童館、保育園、高齢者施設など）
- 社会福祉協議会との連携によるボランティア活動（被災地訪問、3.11イベント等）
- 学校外の学習におけるボランティア単位修得のための地域団体との交流
- 地域の小学生や中学生を対象としたSSHオープン理科教室の実施
- 野球クラブチームへの校庭開放
- インターンシップ受入事業の協力企業

### (特別支援学校)

- ◎校内防災訓練における助言
- 地域自治体への学校施設の開放
- 地域での授業実践（陶芸、藍染め、食品加工等）
- 地域公民館事業への生徒の参加
- 地域高齢者施設での交流会

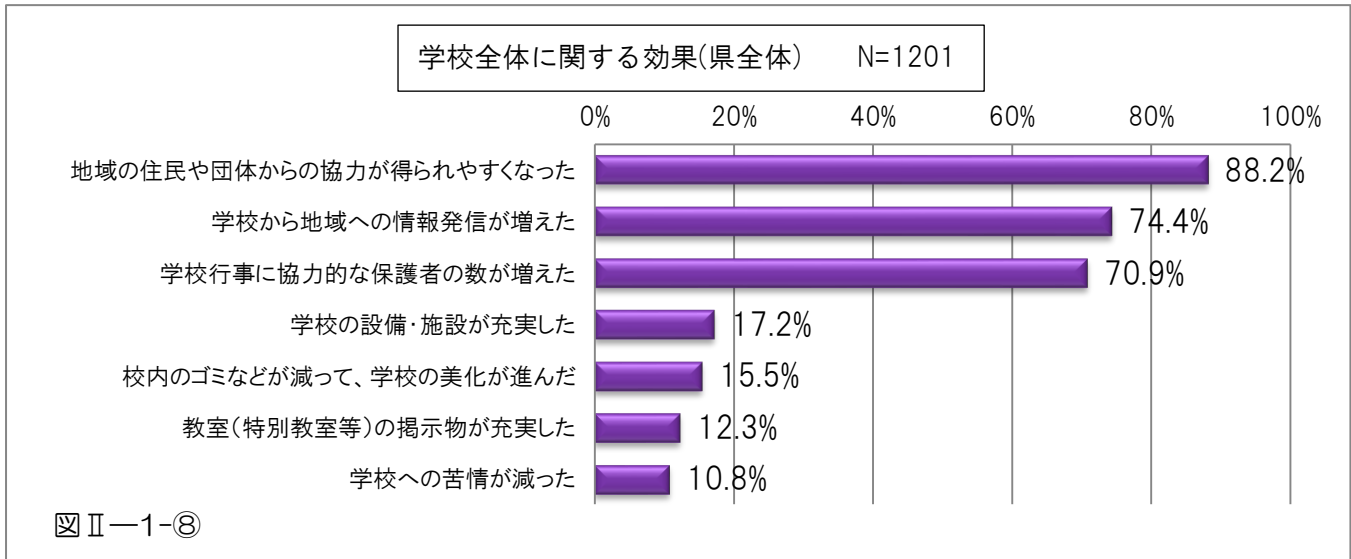
貴校の地域連携に際して、職員の取り組み方はいかがですか。



「熱心である」が27.9%、「どちらかという熱心である」が64.3%で、2つの回答を合わせると、90%を超える高い値を示している。

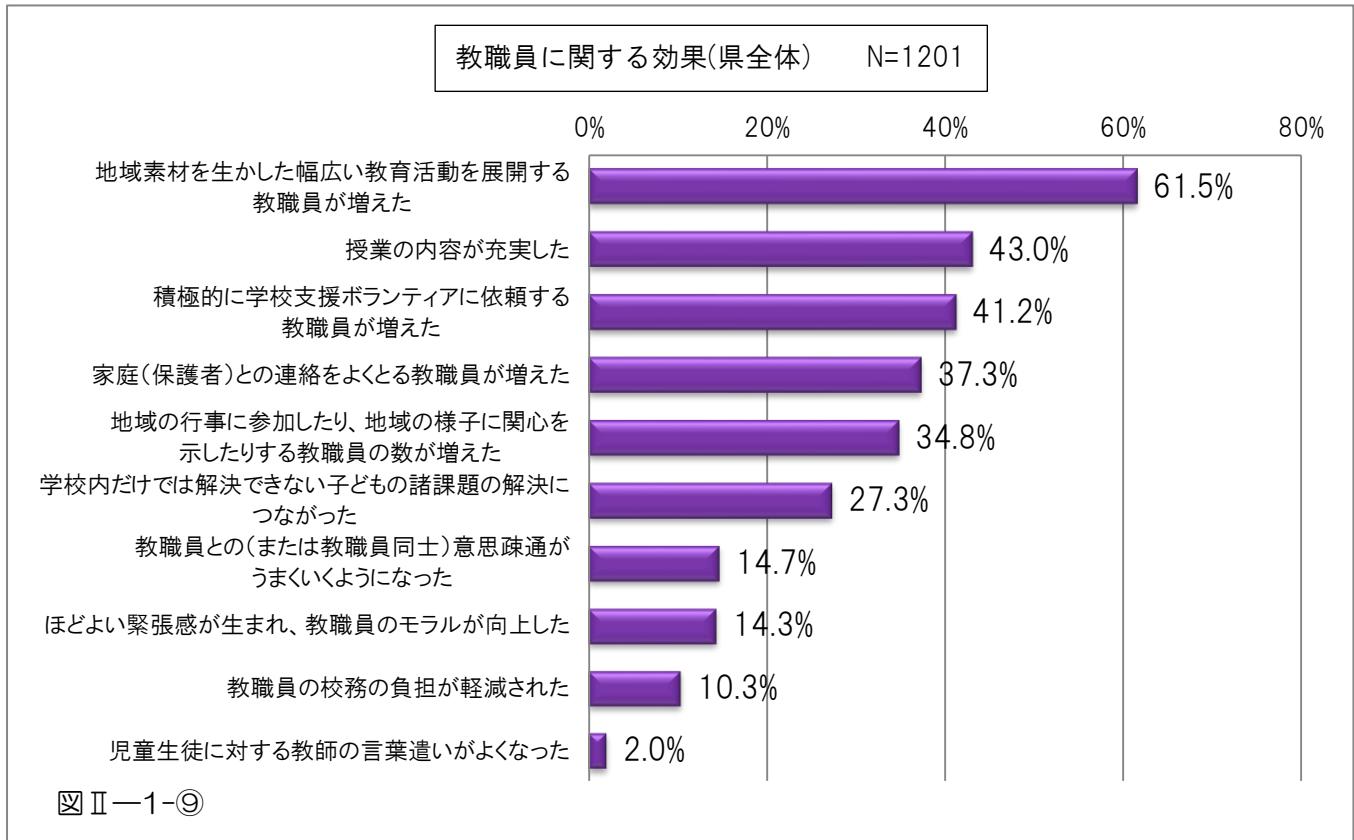
地域との連携活動により、学校経営にどのような効果があったと思いますか。次の①～⑭について、【学校全体】【教職員】【児童生徒】【地域社会】のカテゴリごとに、もっとも当てはまると思われる項目3つに○を付けてください。

【学校全体】



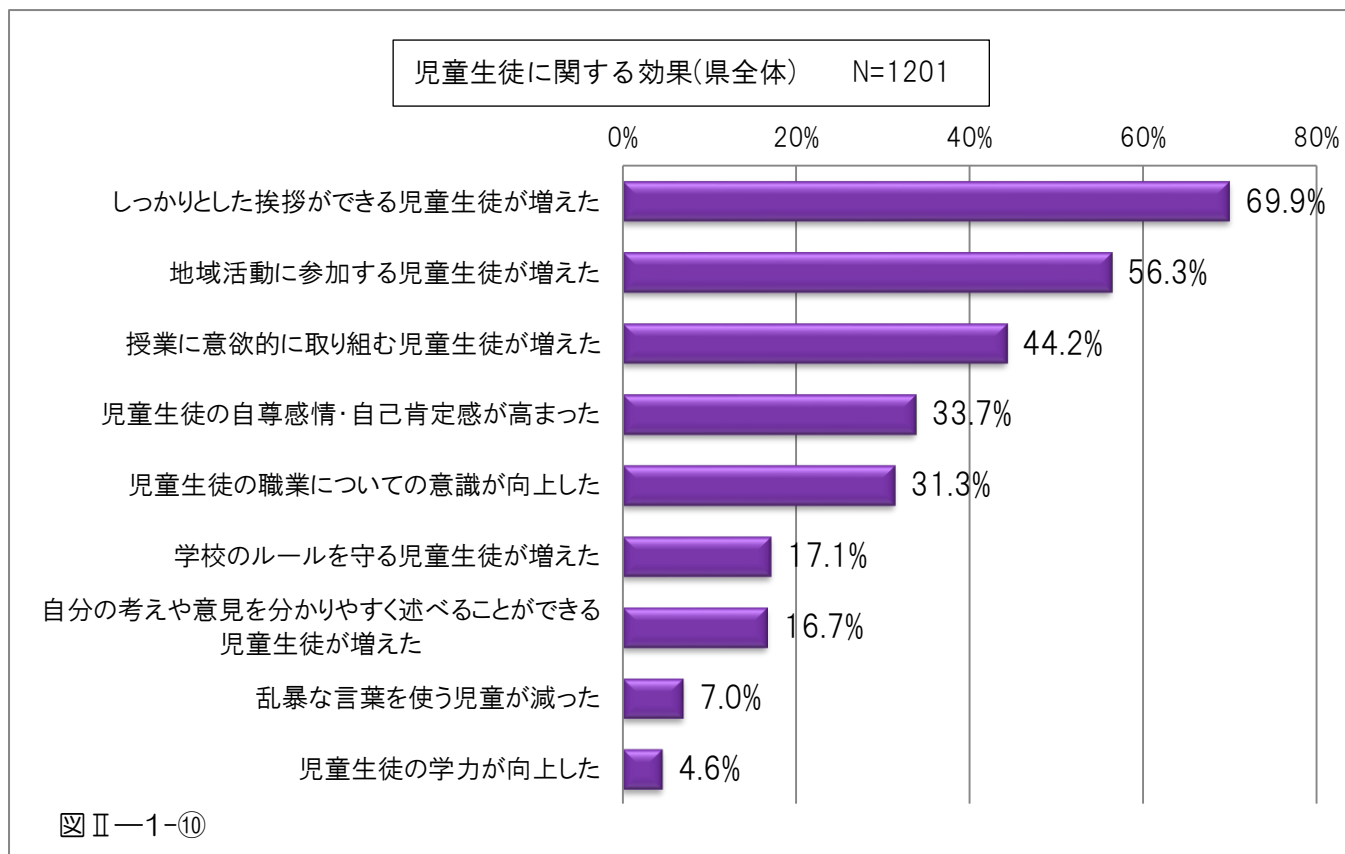
学校全体に関する効果があったと思われる活動について、「地域の住民や団体からの協力が得られやすくなった」が88.2%、「学校から地域への情報発信が増えた」が74.4%、「学校行事に協力的な保護者の数が増えた」が70.9%で、これら3つの項目で高い値を示している。これは、傾向として「学校は情報を提供し、地域はそれに応える」という相乗効果が見られていると言えるのではないだろうか。

【教職員】



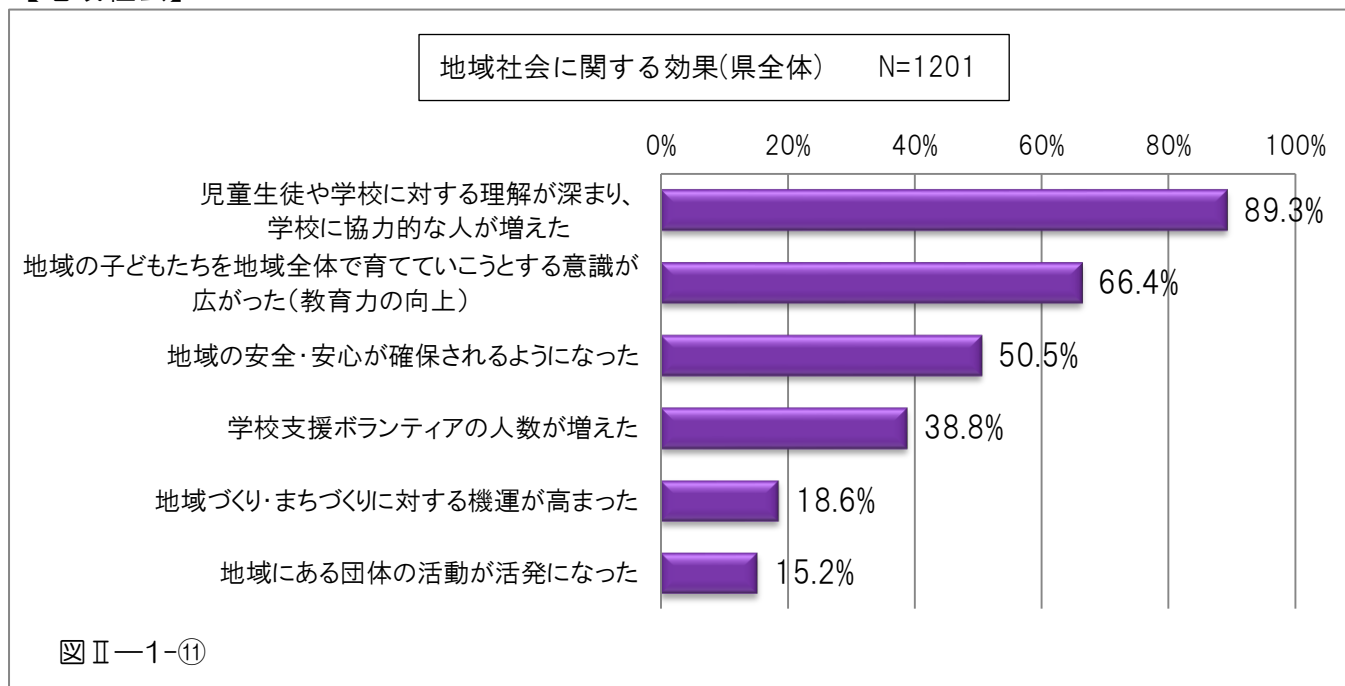
教職員に関する効果があったと思われる活動について、「地域素材を生かした幅広い教育活動を展開する教職員が増えた」が61.5%で、特に高い値を示している。

## 【児童生徒】



児童生徒に関する効果があったと思われる活動について、「しっかりとした挨拶ができる児童生徒が増えた」が69.9%で、最も高い値を示している。次いで、「地域活動に参加する児童生徒が増えた」が56.3%で、これら2項目において、選択した回答者が過半数を超えている。

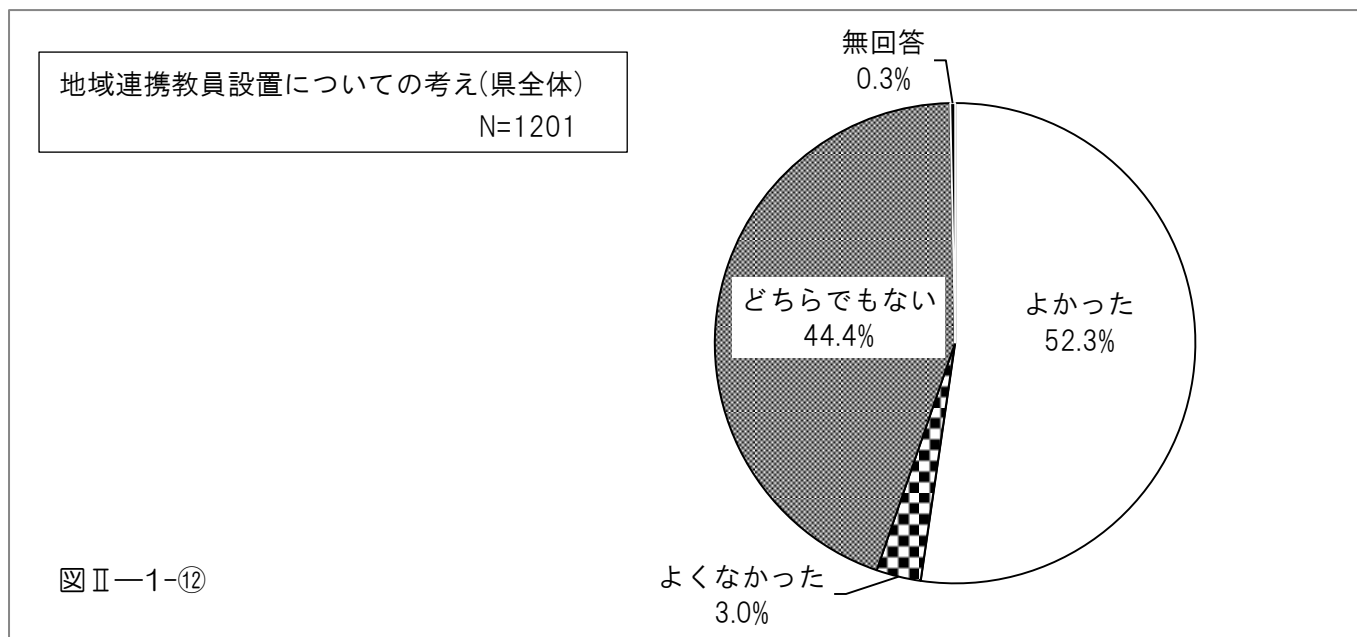
## 【地域社会】



地域社会に関する効果があったと思われる活動について、「児童生徒や学校に対する理解が深まり、学校に協力的な人が増えた」が89.3%、次いで「地域の子どもたちを地域全体で育てていこうとする意識が広がった」が66.4%で、高い値を示している。



学校経営上、地域連携教員の制度について、どのように考えますか。（理由もご記入ください。）

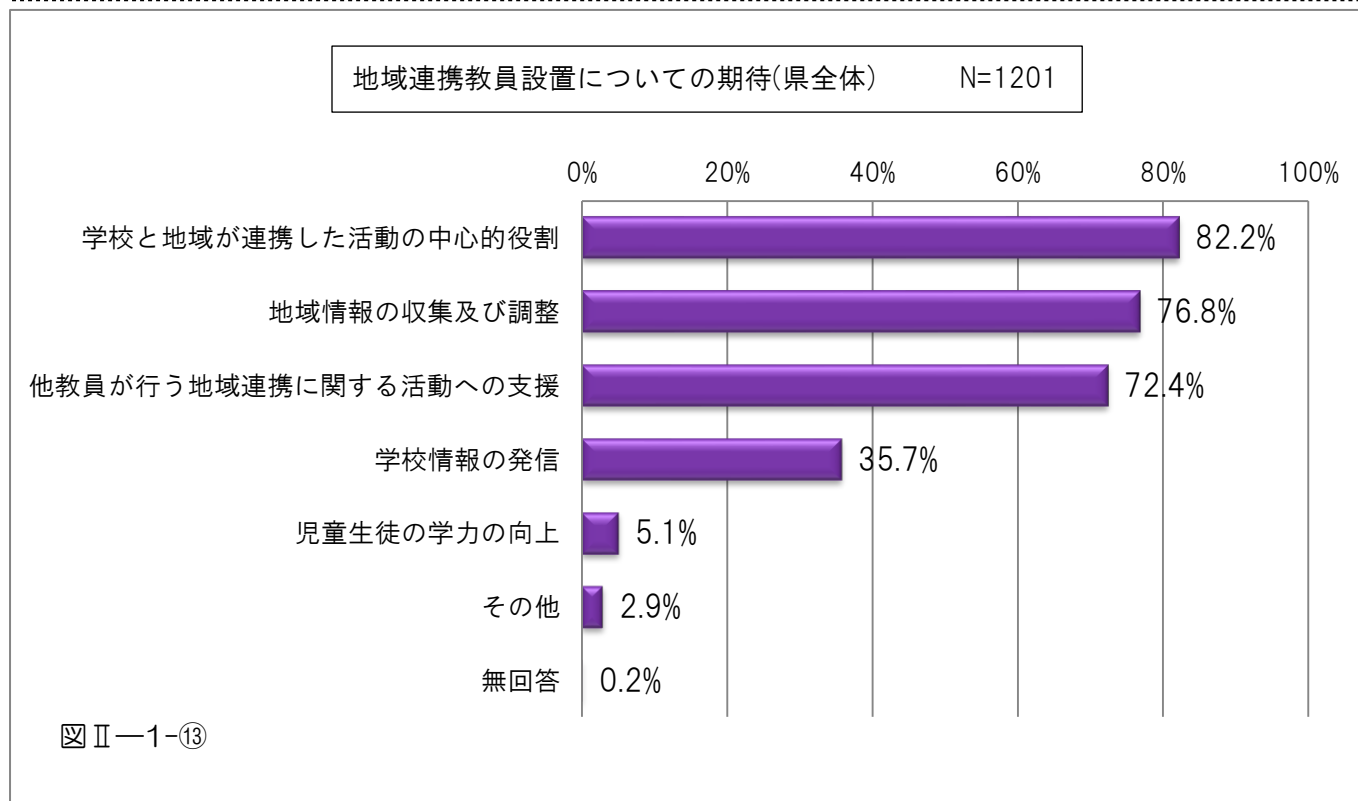


「よかった」という回答が52.3%で、過半数を超えた。「よくなかった」が3.0%で低い値を示している。「どちらでもない」という回答が44.4%となった。

【地域連携教員設置についての考えの理由】

	よかった主な理由	よくなかった主な理由	どちらでもない主な理由
地域連携教員設置の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特色ある学校、信頼される学校づくりに役立っている。</li> <li>・ 学校側の窓口が明確になり、組織的な対応がしやすくなった。</li> <li>・ 学校における地域連携を一層推進する。学校と地域の距離が近くなった。</li> <li>・ 学校支援ボランティアとの連携が強化された。</li> <li>・ 地域行事の運営に管理職以外の教員が参画しやすくなった。</li> <li>・ 地域との連携事業について、教職員間で情報共有・共通理解が得られる。</li> <li>・ 社会教育主事有資格者の役割・力の発揮できる場が明確になった。</li> <li>・ 学校についての情報発信がより多く行われる。</li> <li>・ 教頭の職務の負担軽減につながった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域連携はこれまでも取り組んできたことなので、「地域連携教員」のメリットを感じられない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現時点では、まだ成果・課題は、はっきりと見えてきていない。</li> <li>・ 今後進めていく中で、効果や課題等を把握して検討していく。</li> <li>・ 担当教員が増員になるのなら効果があるが、単に事務の増加を招いただけである。予算措置のない事業はありえない。</li> </ul>
地域連携教員の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教頭と地域連携教員の役割が明確化された。</li> <li>・ 地域連携に関する情報提供等の役割を担っており、地域連携をよりスムーズに行うことに役立つ。</li> <li>・ ミドルリーダーとしての役割を自覚し、管理職が気づかないところも気づいて、教職員と地域の方々に必要な働きかけを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学級担任との兼務では十分に活用できない。</li> <li>・ 今まで教頭が行っていたので必要ない。教頭がその立場にあった方が能率的でスムーズに連携が図れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設置については賛同するが、現行のシステムでは連携教員となった者の負担が大きい。</li> <li>・ 従来あったものと、連携教員の担当する業務の見直し等を進めなければ、期待する役割を果たすことは難しい。</li> <li>・ もともと教頭が中心となって地域との連携を進めてきている。</li> <li>・ 名称は違っているが、同じような業務を行う校務分掌の位置づけをしていたから。</li> <li>・ 地域協議会が機能しているので、今までと変わらない。</li> <li>・ 地域のパイプ役として、活動は多様に考えられるが、時間外勤務等の問題もある。</li> <li>・ 地域連携担当として、地域人材の育成・活用も重要だと思う。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生涯学習社会の実現に向けて学校と地域が相互に助け合うことは重要である。</li> <li>・ 学校の持つ自閉性を打ち破り子どもたちに社会に触れさせるよい機会になると考えるから。</li> <li>・ 県レベルとして、全ての学校で位置づけが明確になった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教頭以外の者がなった場合、現在の地域との信頼関係を維持できるか心配である。</li> <li>・ 中学校区単位で訓練された専門家を配置すべきである。</li> <li>・ 教員の活動・計画に不安を感じた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域連携教員の負担感を解消するために、連携部というチームで分担していけるとよい。</li> <li>・ この職務は、社会教育主事有資格者の公民館等の行政職員を、各中学校区に配置し担わせる方法がより良いと考えている。</li> </ul>

地域連携教員にどんなことを期待していますか。当てはまるもの3つまで○を付けてください。



地域連携教員設置に対する期待については、「学校と地域が連携した活動の中心的役割」が82.2%、次いで「地域情報の収集及び調整」が76.8%、「他教員が行う地域連携に関する活動への支援」が72.4%で、これら3項目において、特に高い値を示している。

#### 【その他の地域連携教員への期待すること】

- ・これまで以上の幅広い教育活動の展開
- ・学校現場が非常に多忙になっているので、担当の仕事を減らしたい。
- ・学社連携・融合が、学校がかかえる諸問題を解決する一つの方法として機能するという視点に立って、率先して取り組んでほしい。
- ・地域の教育資源を活用した豊かな教育活動（他教科・総合や特別活動を横断した）をデザインする力
- ・地域活性化に関する学校としての地域への助言
- ・地域人材資源の活用及び開拓
- ・校務との上手なやり繰り
- ・生徒が行う地域の活性化に向けた活動への理解と支援
- ・学校教育における地域連携の必要性についての他、教職員への啓もう(アピール)